

【台湾】

11-12月の市場動向トピックス

- 2019年11月の訪日台湾人数は、前年同月比11.4%増の392,100人で11月として過去最高を記録した。
- 2019年12月の訪日台湾人数は、前年同月比3.7%増の348,300人で12月として過去最高を記録した。
- 11月は、地方への新規就航や増便、チャーター便の運航による航空座席供給量の増加に加え、円安傾向にあること、昨年は台風21号(関空閉鎖等)や北海道地震等の影響により訪日需要が抑えられていたこと等もあり、訪日者数は前年同月に比べ2桁の伸びを記録した。12月は、昨年は連休となった年末年始が連休にならなかったことに加え、遠東航空による運行停止があったものの、地方への新規就航や増便、チャーター便の運航による航空座席供給量の増加や円安傾向により、12月として過去最高を記録した。

11-12月の主なプロモーション活動

- 台湾で人気のプロガーを今年度の重点地域である四国(愛媛・高知)に招請し、作成した旅行記事を11/15に公開した。記事内では自然、食、アクティビティ等の様々な魅力を発信し、訪日意欲を促進した。
12/1は台中において、2人のインフルエンサーによる一般消費者向けイベントを開催した。日本のウインターシーズンの魅力を、「イルミネーション」「初詣」「福袋」「イチゴ」等の観点から発信した。



旅行記事トップ画面



イベント参加募集画面

- 11/16-17(台北6回目)、23-24(高雄1回目)で2011年の東日本大震災時における台湾からの支援に感謝の意を表す「日本東北遊楽日」イベントを開催。東北6県及び地元企業がブース出展し、約28万人の来場者があった。台湾現地企業とのタイアップ商品開発で来場者の共感を高め、花笠踊りや東北の物産や航空券等が当たる抽選会、より理解を深めるクイズ大会等を実施する等東北地方の観光PRを行った。



台北会場オープニングセレモニー



福島県二本松市 和太鼓パフォーマンス



世界貿易センター3号館 会場の様子